

分野	質問	回答
共通	問1-2の公報リストからJ-PratPat等で公報を検索し、本文の内容を確認するのに時間を要していましたが、公報の検索～明細書本文の速読のテクニックが御座いましたら、御教示願います。	まず、公報の構成を意識し、どこに何が書いてあるかを把握した上でポイントとなる箇所を拾い読みします。また、キーワードのハイライト機能を使うと効率的にスクリーニングをすることができます。
電気	FI、Fタームの選択がうまく行きません。PMGSでFIを調べて、候補抽出し、その候補FIで検索をして、適切か否かを判断するのですが、うまくいきません。何かコツのようなものがあれば、お教えてください。	最初からPMGSで調べるのではなく、まずはキーワードで予備検索をして、本願に近いような欲しい文献集合になっているかを確認します。欲しい文献集合になっていれば、その集合に多く付与されているFIやFタームをPMGSで調べてみて、検索に用いるべきかを判断します。
電気	予備検索で列車・指定席・予約をすべて近傍検索する理由は何ですか？指定席と予約を近傍検索して列車とANDするのは思いつきますが、どう考えたらよいのでしょうか？	どの用語も一般的な用語のため、なるべくコンパクトに確度の高い集合を作成するために3単語で近傍検索を使用していますが、あくまでも一例であり、集合の大きさによっては3単語近傍でなくても問題ありません。
電気	検索式のFTやTX, AB,CLなどの記号は何を意味していますか？また、Jplatpatでこれらの説明はどこでされていますか？	セミナーテキストにも一部記載していますが、構造タグの説明は以下のURLに記載されています。 ヘルプからも参照できます。 J-Platpat論理式で指定できる検索項目 https://www.j-platpat.inpit.go.jp/help/ja/p01/p0101.html#9994 J-Platpatマニュアル https://www.inpit.go.jp/j-platpat_info/reference/index.html#anchor4
電気	以前、検索式を作る際には、一つの検索式に、FI、Fターム混ぜないようにすべきと聞いたのですが、今はそのような考え方はないのでしょうか？	FIと対応するテーマコードのFタームであれば問題ありません。
電気	検索戦略については時間がかかりそうだとおぼしてしまいました。こちらは例えば、200字程度の短文で完璧な戦略でなくても多少の点数にはなるのでしょうか？	問題文の注意点を踏まえて戦略を記載しようとすると、200字では十分に説明はできないと思われませんが、文字数で評価しているわけではありません。
電気	FI、Fタームとキーワードを組合わせて検索式を作成する際、業務では検索漏れを回避する為、下位の分類コードも含む形で検索式を作成しておりますが、特許検索競技大会では、下位の分類コードも含む形で検索式を作成すると、発散し過ぎて、合計200件を超えてしまうことがあります。回答ではドンズバの分類コードしか用いておりませんが、今後、特許検索競技大会にて課題を解く際は、ドンズバの分類コードのみで宜しかったのでしょうか。	どちらが良いとは一概に言い切れないため、分類の定義を確認した上で調査対象技術によって使い分けてください。なお、セオリーとしてはまず濃い集合を作った上で、徐々に広げていくのが一般的です。
電気 機械	【問2】（1）構成要素の分析で、テキストに選択肢が提示されていないように見受けられますが、どこを見れば良いのでしょうか？	申し訳ございません。各分野（電気、機械、化学・医薬）の選択肢につきましては、セミナーテキストに記載がないため、 本紙3ページ に掲載いたします。
機械	競技会に出ている人にも、問題文を表示すべきではないでしょうか？	いただいた要望事項につきましては、次年度に向けて検討させていただきます。
電気	FI同士、CPC同士の組み合わせ検索式はNGとされていたと思いますが、特に下位分類が充実している場合、異なるカテゴリのFI同士、CPC同士の組み合わせが有用な場合もあると考えています。このような考え方は競技大会ではNGでしょうか？	原則、FIは発明情報に付与されるため、モレのない検索をしようとする場合には、FI同士の掛け算は推奨されません。基本的にはCPCも同様ですが、近年は付加情報にも付与されている文献があるため、CPC同士で掛け算しても良い場合もあります。
機械	10N, 20Nは何を意味するのですか？	テキスト46ページ スライド8（電気分野）、テキスト73ページ スライド13（機械分野）下部に記載しておりますが、近傍検索の文字間隔を示しています。
機械	近傍検索の文字間隔とは何でしょうか？	近傍検索におけるキーワードの間隔です。詳細は以下をご確認ください。 J-Platpatマニュアル 付録 P131下部～ https://www.inpit.go.jp/content/100868790.pdf
機械	問2の事例の明細書では、減速構造については明確な定義はなく、歯車が2つ咬み合わさった構造について減速構造として説明がなされています。特開2004-121839でも歯車が咬み合わさった構造を有するので同様の構造（減速構造）を有するとみなせるのでは無いでしょうか。	0038段落に記載される「複数のギア134」は、図14で図示されるように同径のギアと認定できることから、減速構造は有していないと判断いたしました。

分野	質問	回答
機械	また、減速構造について特に請求項では構造等の限定はありませんので、多少なりとも減速する様な構造であれば、減速構造とみなすことができると思われます。特開平2-040251では、バネの力により付勢されるカム構造により回転力を往復動に変換していますが、その際減速する作用が発生するかと思われま。バネの力やカムの角度などを設計することで減速力を制御することが可能であり、減速構造に該当するとみなすことができると思われます。	特開平2-040251には、「これら回転カム（16）の作用により、水車（6）及び補助水車（8）の回転に伴い水車（6）とマッサージ用可動部（5）との連結体をコイルスプリング（11）の付勢力と湯水付勢力（受圧壁（12）に湯水圧がかかることにより得られる付勢力）とに抗して可動部引退側に動作させるようにしてある。」と記載されています（第3頁左下欄第3-9行）。コイルスプリング（11）は、可動部引退側の付勢力を発生する構造と理解することが技術的に妥当であり、減速構造ではないと考えます。
機械	付け加えさせていただきますと要件「減速構造」については、請求項中にも明細書中にも定義づけされておらず、従って広く解釈されるべきなので、特定の態様や明確な減速の記載には拘らず、減速するような機能のある構造であれば関連技術としてピックアップできるように慎重にスクリーニングすることを心がけるべきかと思いますがいかがでしょうか。	慎重にスクリーニングすることを心がける点をご指摘通りと考えます。他方で、「減速構造」については、文献に「減速構造」が記載されている、「減速構造」が文献に記載されているに等しい先行技術文献をピックアップするようになさってください。
機械	機械分野、テキスト58ページ、「さまよいサーチ」とはどういう検索ですか？	「さまよいサーチ」は以下に記載がありますので、ご参照ください。 第VII部 先行技術調査の基本 P.50下部 https://www.inpit.go.jp/content/100646409.pdf
機械	事務局の方をお願いします。会場参加者について、自己の回答のExcelファイルがないので、勉強に不便です。リモートと相違します。会場参加者には、問題文pdfがWEBで後日upされていますが、是非、自己の回答も、どこかでUPしていただきたいです。対応について参加費upでもいいです。	いただいた要望事項につきましては、次年度に向けて検討させていただきます。
機械	近い将来、AIによる先行特許調査の精度が上がってくると思われます。 (例：Shareesaechの概念検索など) この場合、「検索式」を構築しなくても類似特許を見つけることが可能になるのではないかと期待できます。 その際、この競技大会での回答はどのようになるのでしょうか？	競技大会は、現在の環境下において特許情報検索技術者に求められる実務能力を評価するものです。AIについては、再現性や説明可能性などの観点を含め、技術の進化を注視してまいります。
機械	本セミナー資料と 過去問題集との違いは、要するに セミナ資料を持っていれば過去問題集は購入する必要はないでしょうか	セミナーテキストには問題文の概要と解説を掲載しており、過去問集には問題文の全文や解答用紙を掲載しております。 セミナーテキストで問題文の概要は把握できますが、より大会本番に近い練習をされる場合には過去問集も有効ですので、目的に応じて購入をご検討いただけますと幸いです。
化学	【問2】(3-1)でFターム同士を掛け合わせて絞り込みを行っていますが、化学系ではFターム同士の掛け合わせでも問題が生じないのでしょうか。	テーマコードがFMテーマの場合には、Fターム同士で掛け算も可能です。
化学	化学、テキスト27ページ。P&Gの正解は他にもあるとのこと。公報番号を教えてくださいいただけますか？	問2（5）のテキストに記載していない正解文献を 本紙4ページ に掲載いたします。
化学	化学は検索式例はありませんでしょうか？	化学の検索式例はセミナーテキストP109スライド26、P.116のスライド39にあります。
化学	問3（2）について、 ③が侵害可能性があるとするのなら、 本件の難燃層が臭化カルシウムのみからなると記載されていないので、リン酸難燃剤等の他の物質も含む可能性があるため、②及び⑤も侵害可能性があるのではないのでしょうか？	イ号にはカプセルの外側の話は書いていないため不明であることから、③の文献については侵害可能性ありとしています。 一方で、イ号には「臭化カルシウムからなり」と難燃剤の記載があり、②と⑤の文献はイ号とは明らかに違う難燃剤を使っているため、侵害可能性はないと考えます。

【問2】(1) 構成要件の分析

電気分野

【問2】(1)「A社による特許出願の案」に【背景技術】や【発明の課題・解決手段】として記載された内容に照らして判断した場合に、本案に記載された【請求項1】に係る発明の『座席管理システム』はどの点に特徴があるか、下記A～Dの中から最も適切なものを1つ選択しなさい。

A	構成要件 a からなる従来技術に対し、構成要件 b, c, d を付加した点
B	構成要件 a, b からなる従来技術に対し、構成要件 c, d を付加した点
C	構成要件 a, c からなる従来技術に対し、構成要件 b, d を付加した点
D	構成要件 a, b, c からなる従来技術に対し、構成要件 d を付加した点

機械分野

【問2】(1)「A社による特許出願の案」に【背景技術】や【発明の課題・解決手段】として記載された内容に照らして判断した場合に、本案に記載された【請求項1】に係る発明の『シャワー用健康器具(1)』はどの点に特徴があるか、下記A～Fの中から最も適切なものを1つ選択しなさい。

A	構成要件 a の従来技術に対し、構成要件 b, c, d, e, f, を付加した点
B	構成要件 a, b の従来技術の組み合わせに対し、構成要件 c, d, e, f を付加した点
C	構成要件 a, d の従来技術の組み合わせに対し、構成要件 b, c, e, f を付加した点
D	構成要件 a, c の従来技術の組み合わせに対し、構成要件 b, d, e, f を付加した点
E	構成要件 a, e の従来技術の組み合わせに対し、構成要件 b, c, d, f を付加した点
F	構成要件 a, f の従来技術の組み合わせに対し、構成要件 b, c, d, e を付加した点

化学・医薬分野

【問2】(1)「A社による特許出願の案」に【背景技術】や【発明の課題・解決手段】として記載された内容に照らして判断した場合に、本案に記載された【請求項1】に係る発明の『d. 自動食器洗浄機用洗剤パック』はどの点に特徴があるか、下記A～Fの中から最も適切なものを1つ選択しなさい。

A	構成要件 a, b, d, e, f からなる従来技術に対し、構成要件 c を付加した点
B	構成要件 a, c, d, e, f からなる従来技術に対し、構成要件 b を付加した点
C	構成要件 c, d からなる従来技術に対し、構成要件 a, b, e, f を付加した点
D	構成要件 b, d からなる従来技術に対し、構成要件 a, c, e, f を付加した点
E	構成要件 b, c, d からなる従来技術に対し、構成要件 a, e, f を付加した点
F	構成要件 a, b, c, d からなる従来技術に対し、構成要件 e, f を付加した点

No.	公開・公表番号	発明の名称	出願人
1	特表2004-514763	食器洗浄方法	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
2	特表2004-535487	洗浄製品	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
3	特表2005-524761	洗剤システム	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
4	特表2009-533287	パウチの製造及び用途	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
5	特表2010-512447	印刷フィルム上の画像の改善された視覚認知性	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
6	特表2011-511879	洗浄組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
7	特表2012-509388	洗浄製品	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
8	特表2013-513701	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
9	特開2015-078378	PVOHポリマーの配合物を有する改善された水溶性フィルム、及び該水溶性フィルムから製造されるパッケージ	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
10	特開2015-057501	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
11	特表2016-506442	ケイ酸塩でコーティングされた漂白剤を含む洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
12	特表2016-525988	水溶性フィルム内に孔をレーザー穿孔するためのプロセス	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
13	特表2017-508844	刺激剤を含む組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
14	特表2017-515761	組成物を分配するための方法及びシステム	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
15	特表2017-508059	苦味剤を含む組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
16	特表2017-510689	食器洗浄組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
17	特表2017-510690	食器洗浄組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
18	特開2017-106037	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
19	特表2017-533304	可塑剤のブレンドを含んだ水溶性ポリビニルアルコールフィルムを含む物品、及び関連する方法	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
20	特表2017-531603	水溶性ポリビニルアルコールブレンドフィルムを含む物品、及び関連する方法	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
21	特表2017-534736	洗浄用パウチ	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
22	特表2017-535659	洗浄用パウチ	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
23	特表2017-538013	自動食器洗浄の方法	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
24	特表2018-505706	自動食器洗浄の方法	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
25	特表2018-502186	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
26	特表2018-502187	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
27	特表2018-502188	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
28	特表2018-524422	多区画パウチの製造プロセス	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
29	特表2018-528294	多相単位用量洗浄製品	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
30	特表2020-532623	食器洗浄クリーニング組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
31	特表2021-515826	洗剤組成物	ザ プロクター アンド ギャンブル カンパニー
32	特表2018-504502	水性製剤、それらの製造及び使用	ビーエーエスエフ ソシエタス・ヨーロピア
33	特表2017-531088	可塑剤ブレンドを含む水溶性ポリビニルアルコールフィルム、関連方法及び関連物品	モノソル リミテッド ライアビリティ カンパニー
34	特表2021-526563	水溶性ポリビニルアルコールブレンドフィルム、関連方法、および関連物品	モノソル リミテッド ライアビリティ カンパニー
35	特表2021-526564	水溶性ポリビニルアルコールブレンドフィルム、関連方法、および関連物品	モノソル リミテッド ライアビリティ カンパニー